

資料室だより 157

2人の方の遺品よりご紹介します。遺贈品として譲り受けたものから次に引き継ぐべき音楽の遺産の尊さを想います。

* ヴリーゲン氏の遺品より

Hamal, Jean-Noël: In Exitu Isurael-Psaum 113

オリジナルのコピーと思われるスコアと Costalat 社による手書き譜の製本されたコピー譜です。出典があきらかではないので使用に際しては慎重さが必要ですが、寄贈されなければ収集できなかった資料です。Hamal は 18 世紀のフランドルの名門音楽家一族の一人です。ベルギーを代表する作曲家として万博の際にベルギーに関して演奏されたものと考えられています。このような作品を日本で紹介したヴリーゲン氏の見識も並外れていると感じます。リエージュ大聖堂の少年聖歌隊として、また父親の手ほどきで幼少の頃より作曲を勉強しています。

また事情により目録には載せていませんが **Fiocco** の荘厳ミサのスコアと全楽器のパート譜もいただいています。

モーツァルトのレクイエムの自筆ファクシミリも目録には載せていませんが（目録は中世ルネサンス～フランドル音楽に特化しているため）寄贈されております。禁帯出でコピーはできませんが、閲覧なされたい方はハッチハウスのファクシミリの棚に配架してあります。

* 橋本先生遺品より

レクイエム伴奏譜（光明社版、著者 ローテル神父）

グレゴリオ聖歌のレクイエムのオルガン伴奏譜です。ミサ通常文と固有文（Dies irae も含む。また Graduale は朗唱用と歌唱用の 2 つを含む）の伴奏が 3 声の簡素な版と 4 声のと 2 ヴァージョンあり、小教区で無理なく弾けるようになっておりますので利用価値があるかと思い、ここにご紹介します。

橋本先生が長年かけて収集なさった楽譜や書籍は今、入手できないものも多く貴重です。私たちが活動を通して引き継いでいけますように今後も少しずつ紹介していきます。